

製品名: CD209 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08279**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	CD209
別名	CD209; CLEC4L; CD209 antigen; C-type lectin domain family 4 member L; Dendritic cell-specific ICAM-3-grabbing non-integrin 1; DC-SIGN; DC-SIGN1; CD209
遺伝子 ID	30835.0
SwissProt ID	Q9NNX6
免疫原	CD209 抗原由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 261-310)

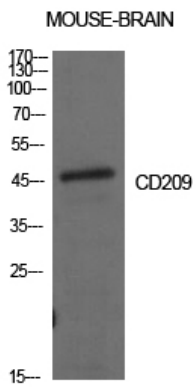
背景

この遺伝子は膜貫通受容体をコードしており、樹状細胞およびマクロファージの表面で発現することから、しばしば DC-SIGN と呼ば

れます。コードされているタンパク質は自然免疫系に関与し、寄生虫からウイルスまで、公衆衛生に大きな影響を与える、進化的に多様な多数の病原体を認識します。このタンパク質は、N末端膜貫通ドメイン、タンデムリピートネックドメイン、およびC型レクチン糖鎖認識ドメインの3つの異なるドメインで構成されています。C型レクチンドメインとネックドメインからなる細胞外領域は、微生物および内因性細胞の表面にある糖鎖リガンドに結合することにより、病原体認識受容体と細胞接着受容体という二重の機能を果たします。ネック領域はホモオリゴマー形成に重要であり、受容体が多価リガンドに高い親和性で結合することを可能にします。23アミノ酸の変異体: 追加のアイソフォームが存在するようです。複数のスプライシングイベントをモジュール方式で独立して使用できます。選択的スプライシングによる膜貫通ドメインをコードするエクソンの削除により、可溶性アイソフォームが生成されます。注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから取得したものであり、予備データとして考慮する必要があります。ドメイン: タンデムリピートドメイン (ネックドメインとも呼ばれる) は、オリゴマー化を媒介します。機能: 樹状細胞 (DC) 上では、マンノース様炭水化物に結合することで、ICAM2 および ICAM3 の高親和性受容体となります。内皮 ICAM2 に結合することで、DC 前駆体の血液から組織への経内皮遊走を媒介する DC ローリング受容体として機能する可能性があります。DC と T 細胞の間に形成される免疫シナプスにおいて、T 細胞上の ICAM3 に結合することで、DC 誘導性 T 細胞増殖を制御していると考えられます。機能: 未熟樹状細胞 (DC) の表面に発現し、一次免疫応答の開始に関与する病原体認識受容体。病原体のエンドサイトーシスを媒介し、その後リソソーム内で分解されると考えられています。受容体は細胞膜表面に戻り、病原体由来の抗原は MHC クラス II タンパク質を介して休止期 T 細胞に提示され、獲得免疫応答が開始されます。カルシウム依存的に、HIV-1 gp120、HIV-2 gp120、SIV gp120、エボラウイルス糖タンパク質、サイトメガロウイルス gB、HCV E2、デングウイルス gE、リーシュマニア ピファノイ LPG、ヘリコバクター ピロリ LPS のルイス x 抗原、クレブシエラ ニューモネ LPS のマンノース、結核菌 ManLAM のジマンノースおよびトリマンノース、および住血吸虫マンソン SEA のルイス x 抗原など、さまざまな病原体抗原中の高マンノース N 結合型オリゴ糖を認識すると考えられます。、その他:in vitro では、HIV-1 の受容体であり、DC 感染なしでトランスに HIV-1 を伝達するか、DC 感染後に許容 T 細胞にシスに HIV-1 を伝達して強力な感染を引き起こします。結合した HIV-1 は長期間にわたって感染力を維持し、細胞膜に近い樹状細胞内の非リソソーム性酸性器官で分解されずに保護されるため、樹状細胞によって末梢からリンパ器官に輸送される際に HIV-1 の感染力が高まると考えられています。、オンライン情報:DC-SIGN,オンライン情報:DC-SIGN エントリ,多型:CD209 の遺伝的変異が結核菌の感受性を決定する [MIM:607948],類似性:1 つの C 型レクチンドメインを含みます。、サブユニット:ホモテトラマー。 HIV-1 gp120、HIV-2 gp120、SIV gp120、エボラウイルスエンベロープ糖タンパク質、サイトメガロウイルス gB、HCV E2、デングウイルス主要エンベロープタンパク質 E など、多くのウイルス表面糖タンパク質に結合します。、組織特異性: 樹状細胞および樹状細胞存在組織で主に発現します。胎盤マクロファージ、胎盤血管内皮細胞、末梢血単核細胞、および THP-1 単球にも認められます。、

研究分野

画像データ



CD209 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。